

(別添3)

【美里町】 校務DX計画

美里町では、令和3年度よりGIGAスクール構想による1人1台タブレット端末及びそれに付随する各種クラウドツールを導入し、授業及び家庭学習等がデジタル化され、個別最適な学び及び教職員の業務効率化を推進した。また、令和4年度より統合型校務支援システムを導入し、校務管理、学籍管理、成績管理、保健管理及び教職員間の情報共有のデジタル化を推進し、教職員の資質向上と事務の効率化を図っている。今後は、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ校務等DXを推進するため、これまでの取組及び今後の取組方針を次のとおり定める。

1. 校務のデジタル化

統合型校務支援システム、採点支援システム及びチャットツールを導入し、校務効率化及びペーパーレス化等を推進した。また、ICT支援員を配置し校務DX推進の一助とした。

2. 学習方法のデジタル化

GIGAスクール構想におけるデジタルドリル及びプログラミング学習システム等を導入し、学習方法をデジタル化し、個別最適な学びを推進した。

3. FAX及び押印の見直し

教育委員会と各学校間でのFAX送受信を廃止した。また、学校におけるFAX送受信は一部運用が残っているものの原則廃止とした。また、押印の見直しについては、特に必要のあるものを除き押印を廃止しているが、継続的にその必要性等を考慮し、必要に応じた見直しを行うこととする。

4. ペーパーレスの推進

各種会議資料等のデジタル化、端末を持ち込んでの会議・研修等については、一部に限られているため、さらなるデジタル化を進める。また、文書のデジタル化を進め、紙の使用を最小限にし、環境負荷を減らすと同時に書類管理の効率を図る。